

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第2委員会 (令和4年度第2回会議)
日時	令和4年9月6日
審査対象	長浜鉄道スクエア

審査結果概要

- (i) 施設所管課（産業観光部 観光振興課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（公益社団法人 長浜観光協会）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答【以下、質疑応答のとおり】
- (iv) 採点、集計

800点満点中：625点（100点満点中：78.13点）

- (v) 審査【以下、審査のとおり】

指定管理者候補として適当と判断する者

所在地 長浜市北船町3-24 えきまちテラス長浜

名称 公益社団法人 長浜観光協会

代表者 理事長 岸本 一郎

選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

委員 : 収支計画書が資料p21～p25に5年間あるが、その中の支出の租税公課について、消費税が60万円となっているが、これは納税額としての消費税のことか。維持管理費としての光熱水費が1,324,000円毎年計上されているが、この半年、1年で電気代が非常に上がっているが織り込み済みか

申請団体：一点目の消費税については納税額である。

二点目の光熱水費については、近年の実費を基に推定金額を算出しており、電気代の高騰についても織り込み済みである。

委員 : 値上がり額が織り込み済みであるということは、直近事業年度の光熱水費の実績はもっと安いという認識でよいか。

申請団体：令和2年度、3年度に関しては、特に夏の暑い時期はコロナで閉館していたということがあるため、この水準よりは安くなっている。コロナ渦以前の令和元年の実績に電気代等の値上げ分を加味して光熱水費を算出している。

委員 : 消費税について、利用額収入を増やしていく計画であると思う。納税額は同額で推移しているが問題ないか。

申請団体：収入額に応じて消費税額を変えていくというのが本来ではあるが、実際に消費税

を払うのは観光協会の収支全体で払っていく。この申請については、同額で見込んでいます。

委員：他のところで吸収するという計画であるとは思いますが、収入が増えればそれに伴って消費税額が上がるというのが実状にあっていて、今後の参考にしてほしい。

申請団体：今後の参考にする。

委員：資料p21の収支内訳書の支出・人件費の内容について確認したい。受付事務員と管理人の記載があるが、管理人はどのような業務をするのか。

申請団体：館内の清掃、確認、庭園等の除草等を毎日してもらっている。

委員：受付事務員と管理人はそれぞれ一人ずつ固定された職員が従事しているのか。

申請団体：受付事務員は3人のローテーションで従事。管理人は慶雲館の職員と合わせて5人で交代して従事している。

委員：3人なり5人の方の人件費の合計額が資料記載の金額ということによろしいか。

申請団体：お見込みのとおりである。

委員：アンケートに関して、文化的価値のあるものなので、今の時代に合わせた展示をするためにアンケートを取っていると思われるが、こういった意見が出ているか。

申請団体：展示内容が良かったという比較的前向きな意見が多い。改善点についての意見としては、こういったものを展示して欲しいというものよりは、おもちゃが壊れていたから直してほしいという意見や、展示の説明文が間違っていたから直してほしいという意見、また館内の温度が高く暑かったというような意見がある。適宜、見直して対応している。

委員：QRコードで実施しているアンケートの中身を見たが、名前の記載は必須か。

申請団体：名前の記入は必須ではないが、アンケートの収集率を上げるために、アンケートに協力をいただいた方の中から数名にプレゼントを進呈することとしている。その為に記名をされる方もいる。

委員：名前は書かなくてもアンケートは回答できるということか。

申請団体：お見込みのとおりである。

委員長：39年の知識・経験という言葉が度々出てきているが、具体的にどのようなことが知識であり経験であると認識しているか。

申請団体：米山名誉館長とは日本ナショナルトラストにいた時代から関わってもらっており、その人脈で色んな方との関わりができ、いろんな資料を収集することができている。また、先ほどの説明の中にもあった汽笛の展示においても、静態展示から動態展示に変えることができたのも、その人脈の伝手を頼って改修ができたから。そういった積み重ねが知識であり経験である。

委員長：そういった経験を様々な場面で活かされていると理解している。インバウンドの点において、多言語での対応という記載があるが、具体的にはどのような対応か。

申請団体：現在、対応しているのは入館案内の多言語化である。英語と中国語の入館案内が

ある。

来館した方用の資料であり、今後は HP の多言語化などを行い、外国人客の集客ができるようにしていく予定である。

委員長：何種類の言語か。

申請団体：英語と中国語の二種類である。

委員長：長浜の在住外国人はスペイン語系、ポルトガル系の外国人が多い。英語を母国語としない人たちに向けた言語対応をしてほしいと思う。もう一点、慶雲館との連携について、一種のアドバンテージであると思うが、長浜観光協会が両方の施設の管理をしているからこそ、その連携にアドバンテージがあるという事例や考え方を教えてほしい。

申請団体：盆梅店の際に梅酒祭りを開催しており、鉄道スクエアの施設を会場として使用している。また、夏休みは鉄道関連の展示を慶雲館でも行い、子供が行き来できるようにしている。こういった連携ができることが強みであると考えている。

委員長：人件費のところに、名誉館長と記載があるが、実際に従事しているのか。

申請団体：最低一回は出勤してイベント等の打ち合わせ等を行っている。

委員長：それでは質疑応答は以上とする。

審査

委員長：集計結果をふまえ、公益社団法人長浜観光協会が指定管理者候補としてふさわしいかどうか、意見を願います。評価できる点、改善が求められる点などについても、合わせて願います。

委員：39年という長い間運営された実績ある。点数も78点と高い。適当と思う。

委員：これまでの実績からも安定した業務の内容は期待できる。財源に限りはあるが、企画展やイベントなどに工夫を凝らしてほしいと思う。

委員：運営者の基盤、経済的な面は安定しており問題ない。ただし、37年という間、同じように運営している。慶雲館ともどもイベントがマンネリ化しているのではと感じている。色々と工夫をしてほしい。指定管理者としては問題ない。

委員長：私も結論としては適当であると思う。安定した経営の反面、新鮮さに欠ける一面もあると思う。今回の機会をとらえて、心新たに取り組んでほしいと思う。いくつか意見は出たが、条件として付与するほどのものはなかったと考えている。当委員会としては、公益社団法人長浜観光協会が適当であると判断してよろしいか。

全委員：異議なし。